



救急 消防

わたしたちが取材しました！






大阪成蹊大学 × 摂津市広報課 連携企画



交通事故や火災、救命救急など、24時間365日、安全・安心のまちづくりのため、日々奔走している摂津市消防本部。そんな消防本部に大阪成蹊大学の学生記者が潜入。「消防×救急」をテーマに、現場で働く人々取材しました。



火災の原因

- 1位 放火 
- 2位 配線器具 
- 3位 たばこ 

※放火は疑いを含む
出典：令和3年消防概況

実は今、放火による火災が増えています。放火による火災を防ぐためにも、地域住民の防災・防犯に対する意識の向上が必要です。

家の周りに燃えやすい物を置かない、物置や空き家にはしっかりと鍵をかけるなど放火火災を起こさないためのご協力をお願いします！



学生記者が考える

今日からできる火災予防



火災原因1位の放火は、家の周りの整理整頓が予防につながるんやって！放火じゃなくても、火災が起きた時、燃え移るものがないと大きな火事は防げるし。ぼくたちでもできる火災予防って他に何があるのかな？



放火には、防犯カメラはもちろんセンサーライトとかも有効らしいで。夜間でも明るくすることが火災予防につながるんやな。



火元がないと火事は起きへんから、火を使わない…が一番やけど、それは難しいから、火を扱う時は常に注意して見ることが大事なんちゃう？



コンセントのほこりから発火するって、今回の取材で初めて知ったよ。プラグ周りの掃除も火災予防になるね。



消防職員にインタビューしました。
お2人が大切にしている「ハート」の
中身について、聞いてきました！



ハート型の摂津市。
摂津の救急救命士・消防士さんたちは、どのような思いで
「ハート」を胸に、日々の業務に励んでいるのでしょうか。
あなたのハート、教えてください！



救急救命士・消防士に聞きました！

「あなたの“ハート”」は？



警備課
白井 消防士長

「初心忘るべからず」
について教えてください。

入庁して間もなく7年目を迎えます。ある程度仕事にも慣れ、後輩職員が増えてきたこともあり、榮をしようと考えてしまうことがあります。

しかし、そんなときは、新人の頃を振り返りながら気持ちを整え、前向きな姿勢を忘れないよう心掛けています。

仕事のやりがい？

良い現場活動ができ、市民の方から感謝の言葉をかけていただけたとき、消防士になってよかったと感じ

ます。

特に、初めて感謝の言葉をかけていただけるときは、消防士として認められた気がして、今でも記憶に残っています。

市民の皆さんへメッセージをお願いします。

新型コロナウイルスの影響で、とても苦しい日々が続いていますが、みんなで力を合わせて乗り越えましょう。

わたしたち消防士も、日々訓練に励み、災害現場に備えていますので、有事の際は、遠慮せず119番までお願いします。

「感謝」とは？

わたしは、消防職に就くことが学生の頃からの夢でした。

生きていく上で必要な「仕事」として、やりたかったことができていることに感謝しています。

消防職を目指すきっかけは？

小学生の頃、けがをして救急車で運ばれたことがありました。「痛い」と「怖い」でいっぱいだったわたしに、救急隊から大きな「安心感」をもらいました。中学生になり、将来の夢を考えるタイミングで、救急隊になりたいと強く思

消防職を目指す人が多く、誰もが就ける職業ではありません。同じ消防職でも、この自治体で採用されるかで、その先の仕事内容や経験値が大きく変わってくると思います。

しっかり情報を集め、自分に合った環境を見つけてください。そして、熱い気持ちを忘れず、頑張ってください。

消防職を目指す人へメッセージをお願いします。



警防第2課
長川 消防士

こんな時は迷わず 119 番

返事がない
もうろうとしている
ぐったりしている など
意識・呼吸がないとき

**多量の出血や
広範囲のやけどが
あるとき**

突然の激しい頭痛
ろれつが回らない
明らかに顔色が悪い など
普段と様子が違うとき

もちろん、緊急時は
119 番！
詳しくは下記QRへ！



▽厚生労働省「こ
んな時は迷わず
119」へ



その電話、ちょっと待って！



本当に、「今」必要ですか？

自家用車やタクシー、
公共交通機関などを使って、
自分で病院に行けませんか？

迷ったら…

なやまず いますぐ いりょうと きゅうきゅう

7 1 1 9 へ！

または ☎ 06 (6582) 7119 へ

- 病院に行ったほうがいい？
- 救急車を呼んだほうがいい？
- 応急手当の方法は？
- 近くの救急病院はどこ？

救急車を呼ぶべきかどうかなどの判断に迷ったら「#7119」へ電話をかけてください。医師・看護師・相談員が24時間365日待機しており、適切な救急病院の案内や病気・けがの緊急性の判断、応急手当についてアドバイスしてくれます。もちろん、緊急時には救急車が出場します。



大阪成蹊大学 × 摂津市広報課



この特集は、大阪成蹊大学公共政策コース大島ゼミと、摂津市広報課が連携し作成しました。



救急車は限りある医療資源です

現在、摂津市には救急車が4台あります。しかし、救急車の要請件数は年々増えており、4台では市内全域を十分にカバーすることが難しくなっています。つまり、本当に救急車が必要な人のために、救急車がすぐに出場できない可能性があるのです。

通常、119番の救急要請を受けると、現場から一番近い救急車が出場します。しかし、近くにあるはずの救急車が出場している場合は、遠方にある別の救急車が出場することになり、現場への到着に時間を要してしまいます。

このように、救急車の出場要請が増えることにより119番を受けてから救急車が現場に到着する時間が遅れ、救えるはずの命が救えなくなる可能性があります。正しい救急車の使い方を知っておきましょう。



救急車も消防車も、いつでもすぐに来てくれるものだと思ってた。ひとりでも多くの命を救うためにも、みんながその緊急性や必要性について意識してもらえよう伝えたい。

